

海外協定校と協定留学プログラムによる留学生・派遣学生

■ 海外協定校からの留学生をご紹介します！

協定校	受入学生	学習院大学での所属	留学期間
香港中文大学	黄 耀德 (コウ ヨウ トク)	政治学科	1 年間
香港中文大学	陳 沛琳 (チン ハイ リン)	日本語日文学科	1 年間
東呉大学	李 煥然 (リ カンゼン)	日本語日文学科	半年間
チュロンコン大学	AREEGARNLERT, Dhanida (アリーガンラート ダニダ)	日本語日文学科	1 年間
アサンブション大学	CHANHOM, Natchalai (チャンホン ナチャライ)	経済学科	1 年間
ニューサウスウェールズ大学	RESENDE, Leandro Filipe Oliveira (レゼンデ レアンドロ フリッペ オリヴェイラ)	国際社会科学科	1 年間
マードック大学	POLLARD, Misaki Jean (ポラード ミサキ ジーン)	日本語日文学科	1 年間
エディンバラ大学	CLARKE, Daisy Eleanor (クラーク デイジー エレノア)	国際社会科学科	1 年間
イーストアングリア大学	ALI, Nadia Abdulkadir Mohamed (アリ ナディア アブドゥルカディール モハメッド)	日本語日文学科	1 年間
イーストアングリア大学	BENNETT, Grace Elizabeth (ベネット グレース エリザベス)	日本語日文学科	1 年間
オックスフォードブルックス大学	CATCHPOLE, Eleanor Dorothy (キャッチポール エレノア ドロシー)	日本語日文学科	1 年間
オックスフォードブルックス大学	MCLAREN, Alasdair James (マクラレン アラスデア ジェームス)	日本語日文学科	1 年間

■ 本学からの 2018 年度第2期派遣学生をご紹介します！

派遣先大学	所 属	派遣学生	留学期間
復旦大学	法学科	堀井 瑞穂	1年間
北京大学	経済学科	一石 周平	1年間
北京大学	経営学科	入 智哉	1年間
香港中文大学	経営学科	川畑 裕太郎	1年間
香港中文大学	国際社会科学科	藤平 有伽	1年間
香港中文大学	国際社会科学科	萩之内 惟	1年間
アサンブション大学	国際社会科学科	上山 英恋	1年間
ノースカロライナ州立大学シャーロット校	国際社会科学科	濱田 彬子	1年間
タルトゥ大学	国際社会科学科	笹山 頼	1年間
イーストアングリア大学	国際社会科学科	佐々木 聖徳	1年間
エディンバラ大学	国際社会科学科	佐々木 亮介	1年間
エディンバラ大学	国際社会科学科	佐藤 有里恵	1年間
ポローニャ大学	政治学科	大久保 遼祐	1年間

(学籍上の留学期間:平成30(2018)年4月～)

協定校	受入学生	学習院大学での所属	留学期間
マンハイム大学	朴 泰琨 (パク テミン)	経営学科	半年間
パイロイト大学	LINK, Matthias Jürgen (リンク マティアス ユルゲン)	大学院・経営学専攻	1年間
パリ第10大学	BONGOUT, Alicia (ボングー アリシア)	大学院・身体表象文化学専攻	1年間
リヨン第2大学	GAUTIER, Pierre Benoit Laurent (ゴーチエ ピエール ブノア)	大学院・美術史学専攻	1年間
パリ第7大学	KAPFER, Pierre-Antoine (カプフェール ピエール・アントワース)	史学科	1年間
パリ第7大学	MORET, Mathilde (モレ マチルド)	大学院・身体表象文化学専攻	1年間
リヨン政治学院	JOSEPH, Héroïse Marie Melanie (ジョセフ エロイス マリ メラニー)	国際社会科学科	1年間
リヨン政治学院	VIDEAU, Alizée Nastasia (ビド アリゼ ナサタジャ)	国際社会科学科	1年間
国立ナポリ東洋大学	GUARINO, Carla (グアリン カルラ)	大学院・日本語日文学専攻	1年間
トリノ大学	LANOTTE, Jacopo (ラノッテ ヤコポ)	日本語日文学科	1年間
アイスランド大学	THORGEIRSDOTTIR, Emilia (トルゲイルストリッテル エミリア)	国際社会科学科	1年間

(留学期間:平成30(2018)年4月～)

派遣先大学	所 属	派遣学生	留学期間
ポローニャ大学	国際社会科学科	井上 詩桜里	1年間
トリノ大学	国際社会科学科	石丸 貴大	1年間
ザルツブルク大学	ドイツ語圏文化学科	伊藤 光	1年間
マンハイム大学	史学科	花田 珠里	1年間
マンハイム大学	国際社会科学科	北垣 円香	1年間
パイロイト大学	ドイツ語圏文化学科	飯野 太良	1年間
パイロイト大学	ドイツ語圏文化学科	阿部 静	1年間
リヨン第2大学	フランス語圏文化学科	吉野 祐美	1年間
リヨン第2大学	フランス語圏文化学科	柿沼 杏奈	1年間
リヨン政治学院	フランス語圏文化学科	山下 真理子	1年間
パリ第7大学	フランス語圏文化学科	大和 弘樹	1年間
パリ第10大学	フランス文学専攻	藤田 洋子	1年間
パリ第10大学	フランス語圏文化学科	吉山 太郎	1年間

平成 30 年度第2学期以降の募集・お知らせ

■ 平成30(2018)年度春季短期研修の実施について

海外協定校等で以下の4つを予定しています。長期留学の準備や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか?募集時期や日程の詳細は、国際センターホームページ、G-port 及び掲示等で公示します。

研修名	研修先	募集人数	日程(予定)
春季短期語学研修(英語)	イギリス・エディンバラ大学	15名	2019年2月3日(日)～2月24日(日)
春季短期語学研修(英語)	イギリス・ヨーク大学	15名	2019年2月3日(日)～2月24日(日)
春季短期語学研修(中国語)	台湾・淡江大学	15名程度	2019年3月3日(日)～3月16日(土)
春季短期アメリカ研修	アメリカ・カリフォルニア大学サンディエゴ校	10名	2019年2月3日(日)～2月24日(日)
日米交流の最前線ー海外フィールド研修	アメリカ・日米交流機関	8名程度	2019年2月18日(月)～2月28日(木)

■ GCA東京2019冬 日本人学生の募集について

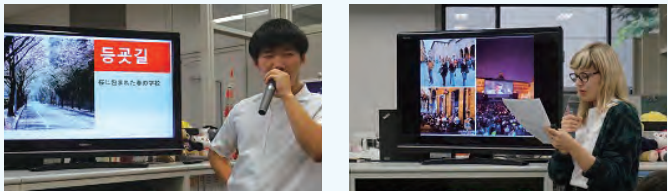
3面で紹介したGCA 東京の2019 冬(開催日時2019 年2月12 日(火)～3月1 日(金))で、サポーターとして参加してくれる日本人学生を募集します。詳しくは国際センターホームページ、G-port 及び掲示等で公示します。

■ 留学フェア開催のお知らせ

国際センターでは、年2回(第1回は6月中旬、第2回は10月下旬)、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談ができるよう、「留学フェア」を開催しています。

フェア期間中は、お昼休みと3限の時間を利用して、留学経験者による留学経験談の紹介、本学協定校からの留学生による協定校紹介、留学相談、様々な言語で話す「チャットルーム」など、日替わりのプログラムを用意しています。留学に興味のある皆さんが自由に参加できる催しとなっていますのでお気軽にご参加ください。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

開催情報は、国際センターホームページ、G-port 及び掲示等で公示します。過去の開催の様子も、Facebook などでご覧いただけます。



■ 平成31(2019)年度第2期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度 10 月中旬より、平成 31 (2019) 年度第2 期協定留学プログラム(留学期間:2019 年10 月～翌年9 月/派遣先:アジア・ヨーロッパ)の募集を行います。募集要項は国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。国際センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご利用ください。
(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/messagefromsenior.html>)
「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

■ 海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学費用の経済的負担の軽減を図り、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも掲示や国際センターホームページ、G-Port により確認してください(独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください)。

① 学習院大学海外留学奨学金

応募条件	・「留学願」が承認されている者又は承認されることが見込まれる者(「休学」による渡航は不可) ・成績評価係数が2.3以上の者 ・語学能力試験を受験して結果が出ている者
奨学金額	1名につき30万円以内(給付)
採用予定数	年間50名程度
募集時期	年2回(第1回12月、第2回6月)

平成31年度に留学を開始する方を対象とした第1回目の募集(12月)については、募集要項は11月に国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です。

なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書(協定留学・協定外留学)が、センターにて閲覧できます。

② 学習院大学海外短期語学研修奨学金

応募条件	夏季休業中に海外において3週間以上の語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間60名程度
募集時期	年1回(9月末～10月上旬) ※夏季休業開始前に募集要項を公示

③ 学習院大学春季語学研修奨学金

応募条件	本奨学金対象の国際センター主催春季語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	30名程度
募集時期	年1回(3月)

④ 学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学に必要な語学能力試験を受験した者
奨学金額	1名につき1万円以内(給付)
採用予定数	年間80名程度
募集時期	年2回(6月および12月)

⑤ 大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	国外で開催される研究会等で発表を行う大学院生(共同発表を含む)
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間20名程度
募集時期	年1回(12月)

【編集後記】

長期休業中、海外で行う短期語学研修へ参加する以外にも、ホストファミリーを引き受けたり、夏季日本語研修プログラムで海外から訪れる留学生をボランティアとしてサポートしたり、日本国内、大学内でもできる国際交流活動や語学カプラッシュアップの場、留学の形・選択肢はたくさんあります。国際センターではこれからも、皆さんの「もっと視野を広げたい!留学生と話したい!外国語上達のきっかけがほしい!いつかは海外へ留学したい!」といった気持ちを後押しできる場を提供していきます。少しでも興味があったら、皆さんも未知の世界や文化へ一歩踏み込んで、新たな挑戦への期待や、乗り越える達成感を味わいませんか?

【国際センター運営委員 平成30年9月1日時点】

所 長	山田 澄生(理学部)	運営委員	阿形 清和(理学部)
運営委員	伊藤真実子	運営委員	星 明男(国際社会科学部)
運営委員	小林 立明	運営委員	岩田 耕一(副学長)
運営委員	橋本 陽子(法学部)	運営委員	小島 修一(学生センター所長)
運営委員	上田 隆穂(経済学部)	運営委員	杉田 稔(国際センター課長)
運営委員	スチュアート アリソン(文学部)		

学習院大学
国際センター

International Centre
Gakushuin University

vol. 42



チャットルーム 2018 ～ネイティブスピーカーと話ませんか?～

国際センターでは、興味のある外国語に実際にアウトプットすることを目的として、2015 年度より「チャットルーム」を開催しています。英語や中国語、韓国語、フランス語、イタリア語、ドイツ語などを、留学生を交えながら少人数のグループに分かれて会話する、「外国語で話す」ことの楽しさを実感するためのイベントです。普段は流暢な日本語を話す留学生が、チャットルームの際には彼らの母国語で会話に参加してくれます。何を話したらいいかわからない、という方もトピックは国際センターが用意しますので安心して参加してください。もちろん、自由に好きなことを話していただいても構いません。



日常生活の中では、外国語を使う機会はなかなかなく、物足りない思いをしている方もいらっしゃると思います。留学に興味がある方、外国語で交流してみたい方、留学から帰国し外国語で話す機会がほしい方、いろいろな言語に触れてみたい方・・・などなどどんなきっかけでも大歓迎です。このイベントで、お互いの恥じらいを捨てて、「外国語で伝える難しさ、伝える喜び」を味わいませんか?
毎月1回程度定期的に開催しますので、奮ってご参加ください(長期休業期間・試験期間を除く)。

☆1人1日の勉強の成果をアウトプットしましょう!
☆少人数のグループに分かれて行います。たくさん外国語で話せるチャンスです!
☆語学力は問いません。
予約不要・途中入退出可です。
☆飲食自由、昼食を食べながら参加できます。
☆国際センター(中央教育研究棟2階)内で実施します。



2018 年度の開催日(予定)
※開催時間は原則、12:20～14:30

6月15日(金)、7月11日(水)、9月27日(木)、
10月18日(木)(留学フェア内)、11月20日(火)、
12月10日(月)

それぞれの実施日が近づきましたら、詳細をG-port や Facebook でお知らせします。
たくさんの方のご参加をお待ちしています!

《夏季》短期ホームステイプログラム ※学習院国際交流基金助成事業

実施報告

長期休業期間中、本学留学生に対して、日本人学生の家庭に1泊～7泊のホームステイ体験を提供するプログラムを実施しています。今回は、のべ6組の留学生及び日本人家庭が本プログラムに参加しました。実施後に行ったホストファミリーと参加学生へのアンケートの一部をご紹介します。ホストファミリーは「国際センターボランティア」の活動の一つとして協力を募っています。次回も、興味を持っていた方には、次回募集をお待ちください! G-port や掲示板でお知らせします。

ホストファミリーになってくれた
日本人学生から

“ホームステイ”と聞いて、色々準備しなくては・・・と心配な面もありましたが、友達とのお泊り会のような感覚で気軽に挑戦してみてもいいと思います。



ホームステイをした
留学生から

ホームステイでは、日本人の生活を体験するだけでなく、ぜひ向こうにも自国の面白いことを紹介してみたいです。



夏季短期研修実施報告

今年度の夏季休業期間中に、国際センター主催の短期研修を13プログラム実施し、のべ157名の学生が参加しました。それぞれ語学力の向上や異文化理解、課題探求を目的とし、参加した学生は有意義な時間を過ごしました。本号では、各研修に参加した学生からの感想を掲載します！



■ 夏季英語研修

●エストニア・タルトゥ大学
※本学協定校／参加者：9名
日程：2018年8月19日(日)～9月9日(日)

今回の研修では、日本と同じく非英語圏であるエストニアの学生や先生などと会話していく中で外国語として英語をどのように学ぶか、という事に注目しました。これは日本に帰った後、どのように英語の勉強を続けていくかという事でもあり、非英語圏に留学したからこそ学べた事だと思います。非常に充実した3週間でした。(心理学科3年 板倉 和輝さん)

■ 国際日本研究プログラム

●イギリス・セインズベリー日本藝術研究所
提携プログラム 参加者：10名
日程：2018年8月27日(月)～9月4日(火)

私は以前から文化財保護に興味があり、このプログラムに参加しました。研究所での講義はたいへん興味深く、大英博物館では関心を持っているシルクロードに関する展示を身近で見ることができ、とても感動しました。また、フィールドワークでイギリスの建築物や食文化に触れることができ、内容の濃い9日間となりました。(英語英米文化学科1年 種村 友理奈さん)

■ グローバル・キャンパス・ヨーロッパ(GCE)

●フランス・ブザンソン・フランシュ・コンテ大学
参加者：7名
日程：2018年8月1日(水)～8月26日(日)

フランス語を生で聞き、話す貴重な体験をすることができました。ホストマザーや研修校の先生方とお互いに伝えようと思って会話をする事で力がつき、帰る頃には自然とフランス語が口から出るようになって自分に驚くほどでした。短い期間でしたが、フランスで生活できたという自信もつぎ、人生の糧になりました。(哲学科2年 森藤 有咲さん)

■ グローバル・キャンパス・アジア(GCA)

●台湾・台北・東呉大学
参加者：8名 ※学習院女子大学の参加者を含む
日程：2018年8月5日(日)～8月26日(水)

3週間は、語学留学には短いように感じられるかも知れませんが、ですが、現地の文化に触れながら、台湾人が発する言葉を実際に聴きながら学ぶ経験は、私にとっての中国語をより身近なものにしました。この研修は語学だけではなく、課題探求を通して身に付いた課題収集・分析能力、プレゼン能力・他者と関わる力は、私の財産になりました。(英語英米文化学科1年 繁田 百乃さん)

■ 夏季英語研修

●福島(国内)・プリティッシュヒルズ
参加者：16名
日程：2018年8月29日(水)～8月31日(金)

この英語研修に参加して普段の生活の中では経験できないことを経験しました。最も大きな経験だったのは生活の言語をすべて英語にして生活することです。初めは緊張して全く話せませんでしたが、徐々に慣れて話せるようになりました。英会話を学ぶことで海外留学への自信が大きくなり、また関心が一層強くなりました。(政治学科2年 南達 俊平さん)

■ 国際日本研究プログラム

●フランス・アルザス欧州日本学研究所
提携プログラム 参加者：15名
日程：2018年8月3日(月)～9月12日(水)

アルザス研修では、隣接するドイツとの二国間の歴史や、様々な文化とリわけ中世の姿を保つ建築をこの目で見た。簡単な挨拶でさえ、異国の地で外国語が通じた時の喜びは日本では味わえない。一面のぶどう畑、青い空、綺麗な宿舎、美味しい料理(さすが量は規格外)……勉強心は絶やさず観光も楽しむ、充実した日々を過ごせた。(フランス語圏文化学科3年 高橋 実緒さん)

■ グローバル・キャンパス・アジア(GCA)

●中国・上海・復旦大学
参加者：11名 ※学習院女子大学の参加者を含む
日程：2018年8月5日(日)～9月1日(土)

上海コースのプログラムでは中国語を学びつつ、自立する力を養うことが出来ました。上海は高層ビルが立ち並ぶ新しい都市という印象でしたが、その中にも歴史的な建造物もあり、その二つが混在する風景はどこか東京を連想させる部分がありました。また、コンビニをめぐり、日本のお店が多くあるので、上海は日本人にとって過ごし易い海外の一つなのかもしれません。(経済学科1年 船橋 建人さん)

■ グローバル・キャンパス・アジア(GCA)

●韓国・ソウル・高麗大学校
参加者：14名
日程：2018年7月29日(日)～8月18日(土)

ハングルが読める程度の能力で参加したのではじめは不安でしたが、10人前後の少人数クラスで先生がとても丁寧に教えてくださったので楽しく韓国語を学ぶことができました。授業以外でも友達とできる限り韓国語で会話することによって能力の向上を図ることができました。(国際社会科学科1年 谷津 詩織さん)

■ 夏季英語研修

●イギリス・ヨーク大学
※本学協定校／参加者：27名
日程：2018年8月3日(金)～8月25日(土)

語学学習に関して、参加前はとにかく不安なことが多く、実際に現地に来て、気持ちが重くなることもたくさんありました。しかし、ホストファミリーもチューターもネイティブの聞き取り方を優しく教えてくれ、分からない時は聞き返せば良いと言ってもらえたので、リラックスして学ぶことができました。(史学科3年 黒宮 涼香さん)

■ 夏季韓国語研修

●韓国・ソウル・東国大学校
※本学協定校／参加者：8名
日程：2018年8月5日(日)～8月18日(土)

韓国語の授業は、日本と違い全て韓国語で進めてくださり、大変勉強になりました。また少人数クラスでの授業のため学校での授業よりもはるかに韓国語で発言する回数が多く、毎回頭をフル回転させて取り組み、本当に充実していました。人生最後の夏休みに、とても素敵な経験ができました。(哲学科4年 石田 佑希さん)

■ グローバル・キャンパス・ヨーロッパ(GCE)

●ドイツ・フライブルク大学
参加者：10名
日程：2018年8月2日(木)～8月30日(木)

フライブルク大学への留学経験は、私にとって宝物となりました。留学前は自分に自信がなく、不安なことばかりでしたが、ドイツで留学生として過ごす中で新しい自分にたくさん出会うことができました。今これを読む皆さんも、不安で防衛するのではなく「行きたい!」という純粋な気持ちを持ってぜひ飛び込んでください。(法学科3年 相田 遥千佳さん)

■ グローバル・キャンパス・アジア(GCA)

●香港・香港中文大学
参加者：6名 ※学習院女子大学の参加者を含む
日程：2018年8月3日(金)～8月25日(土)

香港は治安が良好で、安心した留学生生活を送ることが出来ます。中国語の授業自体は基本的に英語で行われるため、この短期間で英語力も向上したと思います。また、欧米圏からの留学生もいるため、世界中に友人を作ることもできました。このプログラムを通して、充実した香港生活を過ごすことができ、自分にとって良い経験となりました。(法学科2年 佐藤 祐希さん)

■ 国際ボランティア/学習院グリーン元気プロジェクト(GGG)

●ロシア・サハリン国立総合大学
参加者：16名
日程：2018年8月17日(木)～8月28日(火)

GGGに参加し植林ボランティアや寮での生活の中で、現地の方々と交流を深められたこと。サイクリング等の心身を鍛えるプログラムで、仲間と励みあって困難を乗り越えたこと。日本統治時代・第二次世界大戦を彷彿させる、建造物や記録を見学できたこと。すべてが私を成長させる貴重な経験でした。素敵な夏をありがとうございました。(数学科3年 金澤 歩未さん)

夏季日本語研修プログラム (GCA 東京 2018 夏)

2018年7月22日(日)～8月9日(木)にかけてグローバル・キャンパス・アジア東京 (GCA 東京) 2018 夏が行われました。本研修は、海外からの研修生(計46名)と日本側学生(学習院大学の参加希望者、85名)との共修の形で、上級コースと初中級コースからなり、上級は日本語授業と課題探求、初中級は日本語授業が中心となっています。

研修の目標の一つは、異文化コミュニケーション能力を身につけることです。具体的には、①他者との様々な意見の違いを知り、それを楽しめること、②主張を述べるときに異なった意見があることを考慮し、分かりやすく伝えられること、③自分の国や属する社会・集団の文化を分かりやすく相手に伝えることが出来ること、を目標としています。研修生の日本語教育については、教室内外で活動を通して「自分の日本語能力が一歩上の段階へ向上した」と実感できることを目指しています。

そのために教室活動では研修生と日本側参加者が議論をしたり、協力し合ったりして課題を達成することが必要となる設計になっています。教室外活動については、目白庭園での日本文化体験(茶道、書道、振袖・羽織袴の着付け)、鎌倉日帰り研修、フィールドトリップ(自国との違いを知ること)をテーマとして、自由に行先やスケジュールを決めて日帰り旅行をし、そこで学んだことを報告会でポスター発表する)などが行われました。鎌倉研修後に研修生が書いた川柳では「山や海などの自然の美しさに感動したこと」「この研修が将来きっと良い思い出になること」「江の島水族館のクラゲの展示、イルカショーが魅力的だったこと」などが述べられていました。また、研修最後の振り返りでは「今後さらに日本語学習を頑張りたい」「国に帰ってから留学生のサポートをしたい」という意見が多く聞かれました。また、「絶対学習院大学に長期留学したい」との声もありました。日本側の研修生からは「易しい日本語でもっと上手に説明できるようにになりたい」「これから留学するので、異文化交流の経験を活かしたい」との声が聞かれました。



上級コースでは、午後の活動として「課題探求型現地研修」を行いました。

した。課題探求型現地研修では「食文化」「伝統工芸」「メディア」「アニメ」の4つグループに分かれ、研修生と学習院生が協力して調査・取材を展開します。各グループはそれぞれ、栄太楼・東京染ものがたり博物館・杉並アニメーションミュージアム・読売新聞社を訪問し、そこで専門家にインタビューを行います。そして取材やその他の調査で学んだことを、最終日にプレゼンテーションしました。

この活動に参加した学生は、①まず自分の関心にもとづいて質問を考え、②次にグループ内で各自の質問を訪問前に整理し、③実際に現地に訪問して見聞を深め、④学んだことを分かりやすくまとめ、8分間の枠内で発表します。こうした作業を、さまざまな国の学生とのグループワークとして体験するものです。

8月8日の報告会では、4つの個性的なプレゼンが発表され、大いに盛り上がりしました。大変な作業であるだけに、うまくできた時の感慨はひとしおで、一緒に頑張った仲間との友情が生まれます。「課題探求型現地研修」はGCA東京の大きな特徴であり、参加者の多くが感想に「他ではできない経験ができた」「また来たい」と書いてくれる理由ともいえるでしょう。

GCA東京がはじまって12回目となりました。協定校の中には先輩の話聞いた後輩たちが毎回次々に参加してくれるような大学もありますし、日本側参加者についてもリピーターとして参加してくれる学生が増えてきています。今後はさらに多くの国や地域の協定校からの受け入れを進めると同時に、より充実した学びにつながるような研修プログラムを開発したいと思っています。

○本研修に参加した研修生の所属大学

韓国:啓明大学校・高麗サイバー大学校・西江大学校・仁荷大学校・韓国外国語大学校・徳成女子大学校 / 台湾:東呉大学・国立中山大学 / 中国:北京郵電大学・陝西師範大学 / 香港:香港中文大学 / オーストラリア:マードック大学 / フランス:オートアルガス大学 / タイ:アサンブション大学



「私は学生部の一員として様々なイベントの準備に携わり、今年のプログラムも楽しいものにしてワクワクしていました。しかし、今年は天気に恵まれず、せっかく準備してきたイベントが予定通りにならないという事態になってしまいました。私はショックで肩を落とした。

留学生のためのイベント

◆新入留学生のオリエンテーション・歓迎会

4月4日(水)に、今年4月に入学した新入留学学生(私費)と4月受入の協定留学生を対象としたオリエンテーションを実施し、その後に歓迎会を開催しました。オリエンテーションでは、私費留学生にとって、これからの留学生生活を快適に不自由なく過ごすための大事な情報がたくさん伝えられることもあり、皆熱心に耳を傾けていました。協定留学生のオリエンテーションでは、在学中の彼らの生活をサポートするパディの学生と一緒に参加し、留学生にとって分かりづらいところを説明してくれました。



◆留学生歌舞伎鑑賞教室【霞会館教育助成金事業】

本学では、一般社団法人霞会館のご助成のもと、定期的に伝統芸能鑑賞会を開催し、留学生の皆さんに、日本古来の伝統芸能や文化に触れる機会を提供しています。今年度、国際センターでは、6月23日(土)に国立劇場にて「歌舞伎のみかた」・「連獅子」の鑑賞会を催しました。「歌舞伎のみかた」では演目中の仕草や音の意味について解説を聞くことができ、非常に勉強になりました。「連獅子」では親子の獅子の精が見せる豪快な毛振りといった、留学生や歌舞伎初心者にも見えて楽しめる展開に、英語を含む5ヶ国語の解説付きで歌舞伎の魅力に身近に触れることができ、留学生たちからは感激の声が聞かれました。



◆留学生春のバス旅行

国際センターでは、留学生に日本の歴史や伝統文化に触れてもらうため、バス旅行を実施しています。今年度第1回目は、5月20日(日)に、留学生25名と日本人ボランティア学生5名が参加し、川越を訪れました。徳川家とゆかりの深い喜多院の見学を始め、「小江戸」と称される蔵造りの町並みの散策や和紙漉きの体験等、爽やかな青空の下、充実した1日を過ごしました。第2回目は10月頃実施の予定です。



◆協定留学生のフェアウェルパーティー

7月31日(火)に、今年の1学期で留学を終了した協定留学生16名の送別のためのフェアウェルパーティーを実施しました。留学生だけではなく、彼らの留学生生活をサポートしてくれたバディメンバーや、日頃交流のある日本人留学生、派遣予定学生等が集いました。国際センター所長から一人ずつ修了証を受け取り、代表者が挨拶をしてくれたり、写真を撮りあったりと賑やかなひと時となりました。協定留学生に学習院大学での留学生活の感想を聞くと、皆笑顔で「楽しかった!」と答えてくれました。留学生と交流してきた本学の学生にとっても良い経験となった様子で、互いに別れを惜しみ姿がたくさん見受けられました。



日中友好大学生訪中国

今回、北京・杭州・上海の三都市を七日間で訪中し、中国の都市や歴史や中国大學生と触れ合う機会を頂いた。初めての訪中で様々な驚きや学びがあったが、日中友好のために特に伝えたいことは、「百聞は一見に如かず」である。私は訪中する前は、急速な経済発展の裏側にある環境の劣悪さ、横断の数々や中国人の公共の場でのマナーの悪さから中国に対して良いイメージは持っていなかった。ところが実際の中国は、洗礼されたデザインの高層ビルと夜景が印象的で、特に観光地は日本よりもゴミが落ちておらず空気の汚染も感じなかった。また、友人となってくれた中国大學生は、みな勤勉で誠実であり非常に優しくあった。一方で、訪中前に持っていたイメージ通りの点もあった。市場では、同じ商品が店ごとで値段が全く違うことも多く、損をしたこともあった。しかし、その環境ならではの店の人との値下げ交渉を通じた会話がユーモアに溢れていて面白く、買い物だけではなく付加価値を見出すことができた。このように、事実のみで得る情報と、その事象の背景知識や過程を身をもって体験するのでは、印象と情報の「質」が全く違う。インターネットから一瞬で情報を得ることができる時代だが、時間をかけて、自身の五感を経て得る情報のパワーを改めて体感することができた。(国際社会科学科3年 小林 史奈さん)

一週間という短い期間ではありますが中国という地に身を置くことで、今まで目を向けていなかった中国の良さを知ることができました。環境が問題視されている中国ですが想像していたよりもきれいでした。治安もよく、文化の差にもほとんど苦しまなかったように思います。北京、杭州、上海を訪問しましたが、どこも雰囲気や街並みが異なっており、北京は古めかしい街並みが多く、杭州はかなり清潔感と高級感があり、上海は建設中の建物が多くみられ、経済発展を感じました。どこも趣があり、美しく、雄大でした。訪中の期間に中国大學生と様々な意見交換をする機会がありましたが、彼らの言語力のレベルや学習への熱意に圧倒されました。「日本に絶対遊びに行きます。会いに行きます。」と言ってくれた中国大學生との出会いに感謝し、今回の日中友好大学生訪中国に参加できたことを心から嬉しく思います。(化学科1年 鈴木 梨沙さん)

